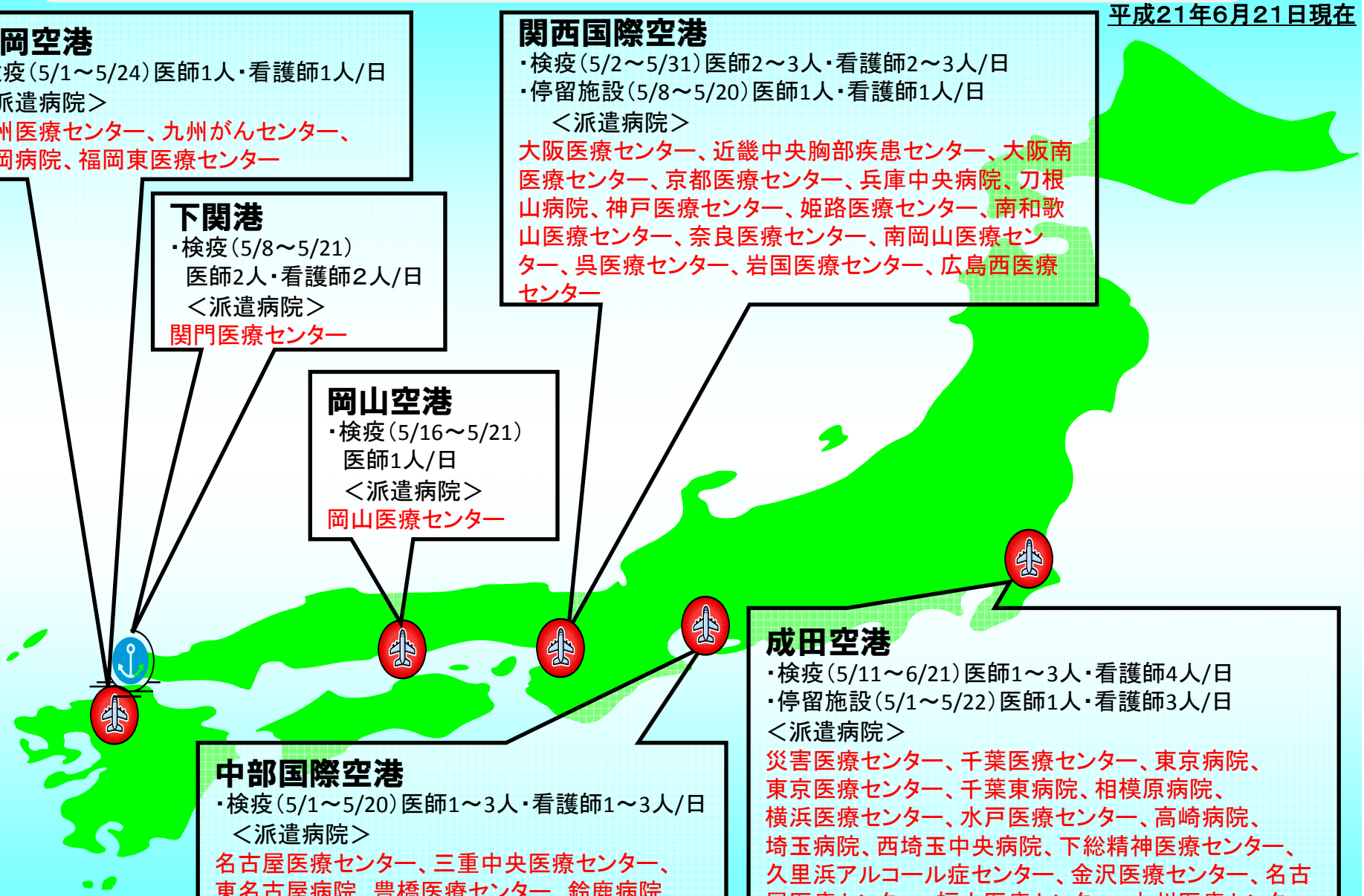
新型インフルエンザに関する検疫所・停留施設へのＮＨＯの応援体制

平成21年6月21日現在



福岡空港
・検疫（5/1～5/24）医師1人・看護師1人/日
＜派遣病院＞
九州医療センター、九州がんセンター、福岡病院、福岡東医療センター

下関港
・検疫（5/8～5/21）
医師2人・看護師2人/日
＜派遣病院＞
関門医療センター

岡山空港
・検疫（5/16～5/21）
医師1人/日
＜派遣病院＞
岡山医療センター

関西国際空港
・検疫（5/2～5/31）医師2～3人・看護師2～3人/日
・停留施設（5/8～5/20）医師1人・看護師1人/日
＜派遣病院＞
大阪医療センター、近畿中央胸部疾患センター、大阪南医療センター、京都医療センター、兵庫中央病院、刀根山病院、神戸医療センター、姫路医療センター、南和歌山医療センター、奈良医療センター、南岡山医療センター、呉医療センター、岩国医療センター、広島西医療センター

中部国際空港
・検疫（5/1～5/20）医師1～3人・看護師1～3人/日
＜派遣病院＞
名古屋医療センター、三重中央医療センター、東名古屋病院、豊橋医療センター、鈴鹿病院、長良医療センター

成田空港
・検疫（5/11～6/21）医師1～3人・看護師4人/日
・停留施設（5/1～5/22）医師1人・看護師3人/日
＜派遣病院＞
災害医療センター、千葉医療センター、東京病院、東京医療センター、千葉東病院、相模原病院、横浜医療センター、水戸医療センター、高崎病院、埼玉病院、西埼玉中央病院、下総精神医療センター、久里浜アルコール症センター、金沢医療センター、名古屋医療センター、福山医療センター、九州医療センター、長崎医療センター、熊本医療センター

独立行政法人国立病院機構